

しずおか 県民児協だより

〔題字：第54代静岡県知事 石川嘉延 書〕

25

第25号
平成25年2月1日発行

編集発行／静岡県民生委員児童委員協議会 〒420-8670 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県社会福祉協議会内 ☎054-254-5224 FAX 054-251-7508



この度、標記全国大会において、小山町民生委員児童委員協議会が優良民児協として会長表彰の栄を受けました。

大変名誉なことであると共に、今後益々民生委員児童委員活動の充実を図っていかねばと痛切に感じているところです。

3000余人が参集した全国大会第1日目は大分県の盆踊りで幕が開き、式典が粛々と進められ各

大会報告

第81回全国民生委員児童委員全国大会に参加して

小山町民生委員児童委員協議会会長 井田 松江

種表彰が行われました。講義では、

「サルの子育てに学ぶ」と題して楽しい講演があり、最後には若さ溢れる大学生のチャリデーディング演技で終了しました。

第2日目は、活動交流会が10の分科会で行われました。大変有意義な2日間でした。

優良表彰の一つとなった小山町民生委員児童委員協議会活動での地区会の様子を紹介させていただきます。毎月の定例会や福祉部会活動などの他に町内小学校区ごとに組織され、地区で活動方針を立て、研修を進めています。

特に学校との懇談会では、幼・保・小中学校の代表者、行政からも出席し、園児・児童生徒の様子、家庭状況等の情報交換をして、実態把握に努めています。

地区防災組織の方々と一緒に防犯パトロールを行い、登下校時の見守りを実施し地区の安全安心に心掛けています。

子育て支援の一つとして、放課



後児童クラブでは夏休みを利用して、その時期でしか経験できない計画を立て、子どもたちとふれ合い、喜ばれています。

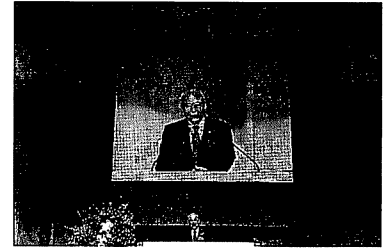
また、老人会や地区の諸行事への参加支援をして民生委員児童委員としての見守り活動を活かすように心がけています。

今後さらに地区との連携を密に、充実した活動が進められるよう努力してまいります。

平成24年度(第81回)全国民生委員児童委員大会報告

期日 平成 24 年 10 月 18 日 (木) ~ 19 日 (金)

会場 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ 他



次のとおり「大会宣言」が採択されましたので、御報告いたします。

大会宣言

今、地域の支え合い、絆の再構築が求められています。

私たち民生委員・児童委員は、平成19年の民生委員制度創設90周年に定めた活動強化方策「広げよう 地域に根ざした 思いやり」行動宣言のもと、安心して住み続けることができる地域社会づくりや、地域社会での孤立・孤独をなくす運動、そして災害時の要援護者支援活動などに取り組んできました。

しかし、昨年の東日本大震災をはじめ、相次ぐ台風や豪雨災害など、数々の自然災害は各地に甚大な被害を生じさせ、人びとの穏やかな生活を奪っています。

また、経済、社会の変化のなか、孤立や孤独、生活困窮、虐待、いじめなど様々な課題がその深刻さを増しています。要援護者を見守る地域社会づくりや生活困窮者の生活を支える仕組みづくりは、わが国全体で取り組むべき喫緊の課題です。

ここ富の国大分県で開催しました、第81回全国民生委員児童委員大会では、私たち民生委員・児童委員がこのような課題に向き合うなかで、果たすべき使命、役割をあらためて明らかにしたところがあります。

全国23万人の民生委員・児童委員は、地域の人びとの信頼と期待に応えるため、地域に根ざしたさらなる取り組みをすすめていかなければなりません。

私たちは、ここに強い決意のもと、次のとおり宣言します。

- 一、東日本大震災で被災された人びとや、被災地で活動する民生委員・児童委員のために、全国的な支援を行うとともに、原子力発電所事故の風評被害に対し、人びとの正しい理解が得られるよう働きかけます
- 一、災害に備え、要援護者を地域住民や関係機関とともに支え、地域で支え合える社会づくりとしての防災活動を実践します
- 一、高齢者・障がい者・子育て家庭など、支援を必要とする住民が孤立や孤独に陥ることなく、誰もが安心して生活できるよう、相談・支援活動や見守り活動を強化し、地域のネットワークづくりを推進します
- 一、児童・高齢者・障がい者に対する虐待の予防や早期発見・早期対応、いじめや犯罪被害から子どもを守る活動を推進します
- 一、基本的人権についての理解を深め、個人情報の取り扱いなど常に活動を見直し、住民や関係機関・団体との信頼関係に基づく活動を進めます
- 一、民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりとして、関係制度の充実を図るための取り組みを、各市区町村、各都道府県・指定都市、全国で推進します

平成24年10月18日

第81回 全国民生委員児童委員大会（開催地 大分県・大分市・別府市）

大会報告

平成24年度民生委員児童委員 全国大会に出席して

静岡県民生委員児童委員協議会 理事 西原 茂子

台風並みの風雨の予報に恐れを
なし、レインコートを用意し10月
17日新幹線を乗り継ぎ福岡へ、福
岡からはバスで別府市へ。ほぼ1



日を掛けて、今回の全国民生委員
児童委員大会の開催地大分県別府
市に着きました。流石、湯の町。
何本もの白い湯けむりに迎えられ
降り立ちました。静岡県からの参
加は総勢34名でした。

1日目は、会場のピーコンプラ
ザに約3,700名が集まり、地
元大分県からは1,435名が参
加されました。準備や出迎え、案
内等心のこもった対応をして頂き、
温かい雰囲気の中、大会式典が挙
行されました。オープニングは地
元に伝わる盆踊り、扇子が生み出
す幻想的な世界、激しい躍動的な
踊り、しっとりした優雅な踊りあ
りと楽しませて頂いた後、ついに
開会しました。全国民生委員児童
委員連合会 天野隆玄会長による

式辞では、誇りと使命感について
のお話があり、各方面の皆様から
も御挨拶を頂きました。

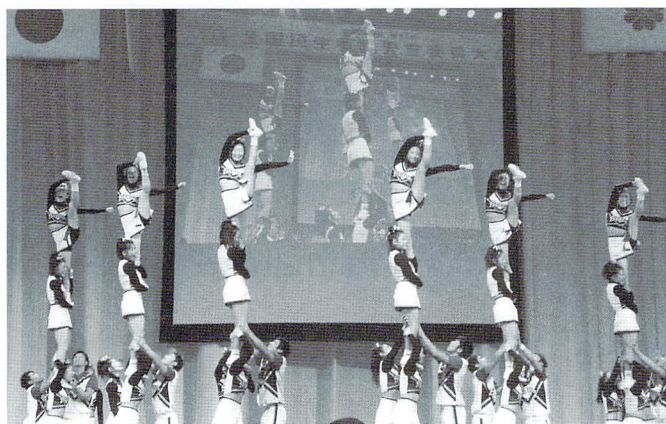
休憩の後の特別講演「サル社会
から見える人間社会」と題した元
高崎山自然動物園職員の松井猛氏
を講師に迎え、映像を交えて、現
在の子育て他についてサル社会
との対比を面白おかしく話され、
「何だか、人間社会が負けてしま
いそう・・・」と思わせるような興
味深いものでした。

大会宣言案採択、抛金贈呈、次
期開催地千葉県の代表者からの紹
介とお誘いの挨拶がありました。

最後、日本文理大学チアリーディ
ング部「BRAVES」によるア
トラクションは力強く素晴らしい
もので、とても心に残りました。

余談ですが、宮城県亘理町民生
委員児童委員の会長さんが、賑済
寺の応援の御礼にと、富士市の会
長他私達を訪ねてくださり、人と
人との絆を感じました。

2日目は、3つの会場10のテー
マに分かれ、活動交流会が開かれ、
各3〜4名が参加しました。私は
第3集会「高齢者等の孤立・孤独
防止活動の推進」に参加し、3名



が事例発表を基にルーテル学院大
学学長市川一宏氏が、上手にコー
ディネートして下さい、密度の濃
い交流会となりました。印象に
残ったのは、孤立死亡後に長時間
発見されない方の多くは、男性単
身者であるという事実でした。

終了後、福岡に戻り一泊。最終
日は、各自2時間程度市内を散策
し、帰路に着きました。移動に時
間がかかりましたが、とても有意
義な全国大会であったと実感して
おります。

『万引きGメンが、あなたに語る』 ～大人が見る紙芝居作成～

袋井市民生委員・児童委員協議会 児童福祉部会

部会長 棚橋 弘

袋井市民生委員・児童委員協議

会 児童福祉部会では、本年度の活動の一環として、「万引きをする子どもの心理等を描いた紙芝居」を実体験をもとに作成しました。

発端は、私が平成24年2月に開催された県専門部会会議に参加し、進行を担当させていただいた折、全ての地区の活動報告が「児童福祉に関する講演を聞いたり、施設を見学したりしての研修」というものでした。

このことから、専門部会会議では、平成24年度は、何か一つでも行動をしようということから、

『行動』を目標にすることとなりました。

本年度、市の児童福祉部会の部会長を務め、初回の部会開催時に、早々、「行動する民生委員になりましょう。」と訴え、その際、私が保安員として取り組んできた仕事をストーリー化した手作り紙芝居を制作することを部会員の皆さんに語り掛けました。部会員のの中には、突然の提案で驚いた方や、本当に出来るのかと思われた方もいたようですが、意見交換の結果、多くの方に賛同いただき、制作することとなりました。

その後、制作会議をもつ傍ら、



作成作業を行うとともに、民生委員だけでなく市民のボランティアの方に絵を描いたり、枠（舞台）作りにご協力いただき、大きさと絵が異なる大・中・小3セットの紙芝居が8月に完成しました。

9月には、市内PTA連絡協議



会・母親代表会において、子どもを持つ保護者を対象に初披露しました。紙芝居を見た保護者からは、「子どもの気持ちがわかっていうことを再確認出来て、興味深く拝見した。」などの声がありました。

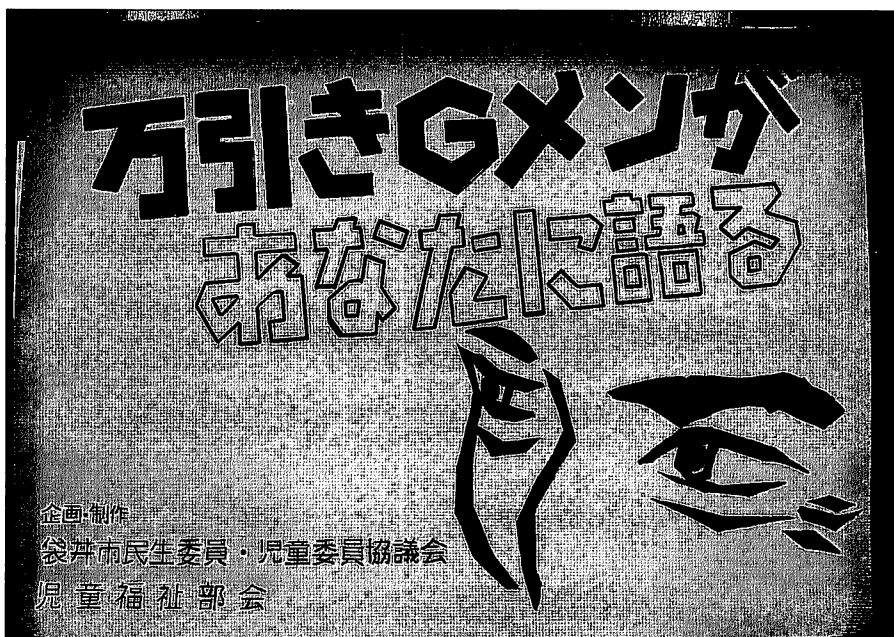
現在は、この

紙芝居を活用することで各民生委員が公民館・地区の集会等で、子供の親と語り合う機会ができ、行動に磨きがかかった思いがします。

また、多くの皆さんに活用していただきたと思うので、静岡県書店組合の会長さんと面会の機会が

あり、お話ししたところ、会長さんは紙芝居に大変興味を示され、早速、書店組合で複写版を作成して県立図書館に紙芝居10セットを贈呈してくださいました。これは、後に新聞で報道していただきました。その後、県立図書館からは、贈呈を受けた紙芝居を県東部・中部・西部の図書館に配布したいというお話をいただきました。

暑い夏場に、紙芝居の制作に全力投球で活動した部会員とボランティアの方々の姿が脳裏に浮び、この喜びを分かち合いたいという感動と体験は、初めての出来事でした。



結びに、この紙芝居のさらなる活用方法について、引き続き部会内で検討し、より多くの方々にご覧いただくなど活用していただき、近年、希薄となりつつある親子関係を改めて見つめ直すきっかけとなることを切に望んでいます。

ひろば

伊豆へ来て下さい



伊東市
民生委員児童委員協議会

重岡 中山

吹きさらさぶ木枯らしにも増して、不況風が身にしみる昨今です。静岡県が誇る観光地でありながら、サービズ業を主産業とする伊豆のような経済基盤の弱い地域はことさらです。昨年11月8日、熱海・伊東・下田3市合同の民児協研修会が開かれました。共通の問題を抱える伊豆東海岸の3市が毎年1回会場を持ち回りにして開いている恒例行事ですが、すでに45回を数え、今回は下田市が会場でした。研修のテーマは、先ごろ認定された伊豆半島の「ジオパーク」です。

伊豆半島は遠い遠いその昔、南の海から来た火山の贈り物だそうですが、そう言えば確かに温泉をはじめ、海岸線や山々の不思議な自然景観、どこか本州とは違った趣があります。しかし、初めは「あれっ？ジオパークと民生委員活動は、どんな関係があるのかな？」と首を傾げてしまいましたが、実は私達の故郷を足下の大地から見つめ直し、観光に役立てようという企てらしいのです。

県下23市の中で、伊豆の3市は市民の平均所得が最低で、生活保護受給率は人口比で最高だそうです。ですから、1人でも多くの観光客の皆様に来てもらわないと、市民所得は増えず、地域の経済が保てないのです。県下の皆様もどうか、「ジオパーク伊豆」へ遊びに来て下さい。

少子高齢化の流れの中で



菊川市
民生委員児童委員協議会

三井 修司

菊川市はお茶の香かおる自然に恵まれ、「みどり次世代」を合言葉に「誰もが安全で安心して暮らせるまち」を目指しています。菊川市民児協は3地区 83名（内主任児童委員6名）4専門部会で、行政・社会福祉協議会と連携して活動に取り組んでいます。

全国的な少子高齢化の流れの中で、「無縁社会（孤独死）」が社会的な問題となり、菊川市民児協では、昨年社協と連携して高齢者を訪問しました。現状の実態把握に努めた結果を冊子にまとめ、文化会館アエルでNHKの板垣淑子氏の公演とシンポジウムを開催し、共通理解を深めることができました。

本年度は、「地域での孤立・孤独問題への取組み」を菊川市民児協の重点に押さえ、6月に担当地域の「独り暮らしの高齢者」を訪問し、健康状態や生活面での困難点を具体的に聞き取りまとめることができました。その中で足腰を弱め、買い物や通院・市役所訪問（手続き等）などの困難点が明らかになり、本年度社協の事業として「福祉有償運送事業」としてスタートすることになりました。私たちは、地域の高齢者・弱者が「安心して暮らせるまち」になるように、日々の活動の中で一声声掛け、良き相談相手として必要に応じ行政の各機関をつなげて行きたいと思っています。

さりげない見守りの大切さ



吉田町
民生委員児童委員協議会

大井 紀子

9月に高齢者実態調査を終えましたが、昨年比べ、私の担当地域でも一人暮らし高齢者世帯や高齢者のみの世帯、支援を必要とする高齢者の増加が見られます。どの世帯もそれぞれ問題を抱えており、よく相談を受けています。支援を望む人にとっては、例えば私のような一期目の未熟者でも、民生委員は頼もしい相談相手と思って来ています。

民生委員活動の中で、私が最も頼りにしているのが地域包括支援センターで、常に迅速な対応で問題解決のために力を貸してくれます。何より有難いのは、途中経過や結果について、必ずこと細かに報告してくれるので、次のステップに取り掛かりやすいのです。

地域包括支援センターのモットーである「さりげない見守り」は、適度な距離を保ち高齢者に安心感を与えるもので、高齢者を取り巻く環境がより良いものになるよう、私も日々努めています。

最近こんな事例がありました。妻が突然倒れて入院。幸い大事には至らなかったのですが、これがきっかけで、夫はすっかり気落ちし、食欲不振となりついには点滴を受けることになりました。今は、妻が退院し夫が元気の今後問題が山積みです。

この様な事例は珍しいものではなく、この先も増え続けるでしょう。私も地域包括支援センターを利用することが多くなりそうです。

地域とのふれ合い



裾野市
民生委員児童委員協議会
藤原 誠次

裾野市は、富士山の東側に位置し箱根と隣接、しかも市を流れる黄瀬川の両サイドにある細長い土地です。毎日、富士山を仰ぎ東名高速・新東名高速が山沿いに通っている静かな市です。

わが民児協は、民生委員85名、主任児童委員8名（合計93名）で構成され、5地区に分かれて活動しています。

毎月の定例会はもとより、各部会（5部会）は年間計画に則り、積極的な活動をしており、部会メンバーは、各地区委員からなり委員相互の意見交換の場にもなっております。最近、当協議会の中で緊急医療カード「ウグイスカード」の発行のお手伝いをしております。このカードは、区長会からの提案で救急車を呼ぶ時など「もしも」に備える医療情報カードです。市全体に普及させるため高齢者の補助としています。

つぎに年々増加傾向にある高齢化率に対応するため、介護予防ボランティア活動に参加して少しでも減少させるよう多くの活動団体の方の積極的な参加の呼びかけをしたいと思います。

民生委員児童委員として一番必要なことは、「相手の立場に立つて物事を考える」事が基本だと思います。地域で共に生活し、より良い人生を過ごすには、思いやりの心を持ち、一緒に考え、一緒に楽しみ、常に自分自身に置き換えて反省しながら、良い方向に持っていく事が必要だと思います。小さな積み重ねを続けることで相手に信用され、頼りになる民生委員・児童委員になると思います。

これからは、少しでも長くみんなのために誠意をもって活動することにより、地域全体が楽しい町になるよう頑張っていきたい。

地域の中で



富士宮市
民生委員児童委員協議会
川島 幸子

平成4年、当地に住んで数年の頃でした。民生委員のお声が掛かり、民生委員の役割も分からぬまま社会勉強と地域の方々を受け入れてもらうためにとの思いで、引き受けさせていただき、20年になりました。自己紹介を兼ねて、安否確認から始めました。「相談したいことがあったらこちらから伺いますので、来なくてもいいです。」と言われたこともあり戸惑いました。でも、折に触れ訪問したこと

で受け入れて貰えた時は嬉しかったです。その他、内容によつては公的機関に相談、対応していただいたケースもあり、そのお蔭で今まで務めることが出来たと思います。但し、個人情報保護法により新たな高齢者を把握しづらくなっている現状を感じています。富士宮市の高齢化率は、平成24年10月現在 23.09%に達しています。

社協の呼びかけで、平成18年1月10日より寄合い処「お茶とも」を始めました。月2回2時間、参加者の特技を引出し、楽しく過ごしてもらえようスタッフ5人、気配りをしながら運営しております。介護予防の一環でもあり、地域型支援センターにも相談と協力をお願いしています。

小学生を対象に「あそび大集合 どんぐりの家」0歳から3歳までの幼児が親子で集える「ふれあいサロン どんぐり」など、月1回2時間にも参加しています。

社協、市役所職員、民生委員、主任児童委員、保育士経験者、保健委員、地域の有志と共に地域に密着した活動を心がけ、支え合って現在に至っています。

時の流れ



熱海市
民生委員児童委員協議会
会長 土屋 隆

平成元年（1983年）、民生委員児童委員を拝命以来8期24年、熱海市民児協会長として、2期6年目を迎えました。重責の中、委員の和と思ひやりの心を第一と考え、「向う三軒両隣り」「廻して頂戴回覧板」「教えられたり、教えたり！」「小学生の頃を思い出し、提唱、活動を解りやすく、顔の見えるつながりを持つことにより、声掛けや見守り活動ができ、孤立・孤独を防ぐ事につながります。熱海市民児協は、民生児童委員12名、主任児童委員8名で成り立っており、高齢化率40%で県下でもトップ、町内会によつては50%を超える地域もあり、支援や見守り活動は必要不可欠となっています。住民の立場に立つて相談に応じ、日常生活のニーズや実態を明確にし、今後の指針として考えていきたいです。

私の担当エリアは市の住宅とマンション、山岳地域の別荘地です。世帯数は10世帯、要援護者として一人暮らし高齢者が40名ほどです。市に住民登録していない方も多く、登り降り多い場所に点在し、歩くと50分は掛かります。人には従来、心に残る忘れがたい思い出があります。悲しみや苦しみ、又は楽しかった事や嬉しかった事。人が幸福に感じる時です。

本格的な少子高齢化社会の到来、核家族化や単身世帯の増加、家族意識の変容などが進む中、地域社会では、人との繋がりが薄れつつあり、地域住民は、福祉制度では対応しきれない多様な生活課題を抱えています。「安全で安心のまちづくりを推進する上で、住民同志が助け合い支え合う日常的な見守り活動」を通じて、地域に密着した活動を進めていく事の大切さを、今深刻に受け止めています。

民生委員信条に「常に住民の立場に立つて」とありますが、それは同じ目線で相手の立場になって考え、相談に応じる事だと思っています。

熱海市民児協では、会報「民協あたま」を毎年発行していますが、昭和59年（1984年）創刊号発行以来、本年は30号という記念すべき発行となります。先輩委員諸氏の熱意と努力に因って引き継がれ伝承してきた歴史の重みに深く感謝いたしました。編集に携わった多くの委員さんに心より感謝申し上げます。

今年は、3年に1度の改選の年に当たります。私も任期満了で退任となりますが、残任期間「全身全霊」元気に努めさせていただきます。

平成24年度叙勲・大会等表彰の紹介

(敬称略)

叙勲

瑞宝単光章

(平成24年4月29日付け)

菅沼 敏男

(熱海市)

田中 正子

(沼津市)

瑞宝双光章

(平成24年11月3日付け)

山本 芳治

(磐田市)

岡山 文彦

(沼津市)

厚生労働大臣表彰

(平成24年11月16日付け)

高村 昌子

(三島市)

津田 富子

(沼津市)

中村 哲子

(湖西市)

森田 恭子

(熱海市)

静岡県知事表彰

静岡県健康福祉大会

(平成24年10月18日付け)

佐々木耕治

(長泉町)

全国社会福祉協議会表彰

(平成24年11月16日付け)

民生委員児童委員功労

加藤 猛

(伊東市)

望月 衛

(富士市)

東 信次

(熱海市)

西原 茂子

(富士市)

山口 弘子

(熱海市)

横田 一女

(島田市)

勝亦 良光

(三島市)

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

(平成24年10月18日付け)

優良民生委員児童委員協議会

小山町民生委員・児童委員協議会

永年勤続民生委員・児童委員

下村とし江

(伊豆の国市)

宮川紀代美

(三島市)

藤田小夜子

(三島市)

加藤 公子

(沼津市)

駿藤 春代

(沼津市)

田村 輝美

(沼津市)

庄司美智子

(沼津市)

神保 守夫

(伊東市)

高森 孝子

(島田市)

朝比奈伸子

(島田市)

松本 玲子

(富士市)

石岡かつ子

(富士市)

編集後記

平成23年3月11日 東日本大震災により、多くの生命が奪われました。

宮城県民生委員児童委員22名の皆様が犠牲になられ、発生直後支援活動中のこと、誠にさみしく残念です。震災後、宮城県亘理町民児協会長様より、富士市民児協に富士市福祉課を通じて、支援の協力依頼がありました。

早速、富士市民児協理事會に提案・検討支援を決議し、委員皆様にお願ひして多くの義捐金及び物資を各地区毎に、宮城県亘理町民児協へ発送しました。

その後、物資等の御礼状を頂き、お手紙には「夏に向かい暑い」避難所生活にたくさん衣類・団扇・トイレットペーパーを本当に有難うございました、との言葉が届きました。

支援活動をして良かったと思いました。平成24年10月18日に「全国民生委員児童委員大会」が、九州大分県で開催され、全国から3,600名余りの正・副・関係民生委員・児童委員が集まりました。大会開催中、宮城県亘理町 紅林しず子会長より、「静岡県富士市民児協会長様はいらっしゃいますか？」と、広い会場にお声が掛かり、何のお尋ねか・・・と立ち上がったところ、「亘理町の民児協会長です。」とのお言葉があり、私はびっくりしました。短い休憩時間の合間でしたが、富士市民児協からあの震災時多くの義援金・物資等を支援していただき、本当にありがとうございました。と感謝を込めてお礼の言葉を頂き、私も感激し御挨拶を致し、亘理町会長より「まだ、復興中ではありますが」と何度も御礼を述べられ、お互いの絆を大切に全国大会会場を後にしました。